



会 長 小林 幹夫 青少年奉仕 橋本八右衛門
副 会 長 道尻 誠助 幹 事 正部家光彦
クラブ奉仕 会 計 佐々木泰宏
会長エレクト 紺野 広 会場監督 峯 正一
職業奉仕 妻神 和憲 直前会長 小井田和哉
社会奉仕 地代所久恭 副 幹 事 松本 剛典
国際奉仕 中村 稔彦 会計補佐 山村 和芳

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
事務所 八 戸 市 番 町 14 八戸グランドホテル内
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
http://hachinohe-rotary.org/
会報・広報委員長 峯 正一 同副委員長 荒谷 達也
同 委 員 廣田 茂 同 委 員 道尻 誠助

国際ロータリーのテーマ — 2022～23 — 八戸ロータリークラブのテーマ

イマジン ロータリー

ロータリーの力を信じよう！

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

八戸ロータリークラブ会長 小 林 幹 夫

12 月 は 疾 病 予 防 と 治 療 月 間 で す

第3251回例会

2022.11.30

▶ ゲスト紹介

八戸RC名誉会員 熊谷雄一八戸市長

会 長 要 件 小林 幹夫 会長



2週間ぶりの例会で、11月最後の例会です。

友好クラブの横手ロータリークラブから今月上旬にお米をいただきました。

今、皆さんの目の前のご飯が横手からいただきました“サキホコレ”です。グランドホテルさんにきょうのお昼ご飯に使って欲しいとお願いしました。



私事ですが、先週末に事務所が移転しました。以前は根城ゆりの木通り沿いのスターバックスの隣でしたが、手狭になったため、根城中学校の向いに移転しました。数年前まで林料理学校がありましたが、そこが2020年に閉校しましたので、その建物をそのまま借りて、中を改装しました。

幹 事 報 告 正部家光彦 幹事



○来週12月7日の例会は年次総会です。総会後に5委員会の委員長に上期の活動報告をお願いしていますので、ご準備よろしくお願いします。

委 員 会 報 告

親睦・会場委員会

岡崎孝文委員長



○ニコニコボックスの報告

- ・会員誕生日 妻神和憲さん
- ・奥様誕生日 妻神和憲・山田慶次 村館珠樹・正部家光彦さん

小林幹夫・夏川戸 齊
広瀬知明・道尻誠助
小井田和哉さん

熊谷市長、本日はよろしくお祈りします。

橋本八右衛門さん 今年も残り1ヶ月。盛り上がりましょう。

山村和芳・赤澤栄治 } ニコニコデー
熊谷清一さん

○水曜会ゴルフコンペのご報告



中村稔彦さん

11月19日(土)八戸カントリークラブで水曜会ゴルフコンペ最終回、第4回ゴルフコンペが開催されました。第3位橋

本さん、準優勝 夏堀さんの奥様、優勝は夏川戸さんでした。納会を12月15日(木) パークホテル 18:30~で開催します。年間表彰もありますので、ぜひご参加お願いします。申込締切は来週火曜日までです。



「ひと・産業・文化が輝く北の創造都市」の実現に向けて



昨年の11月17日に就任いたしまして、真っ先に市の職員の方々にわたしの思いを伝えさせていただいて、そこからスタートしたのですが、今年の4月1日から本日説明させていただきます「新しい総合計画」が11月中旬時点ではほぼでき上がっていたはずですが、計画の策定委員会からあるいは議会から「市長が変わったのだから、市長の新しい公約を入れ込んで作り直すべきだ」という提言があって、わたしにとってはありがたい提言だったのですが、行政側は大変だったと思います。それを入れ込むような形で新しい計画と、その計画は1年ごとに戦略を作って進めていくことにしていますが、その総合戦略を作って、この4月1日からスタートしています。

きょうはその総合計画と、特に戦略について、これは作ってから7カ月以上経っていますので、途中経過とだんだんと新年度に入りますので、まだ何かを申し上げる状況ではありませんが、わたしの思いを少しお伝えしながら、時間までお話しさせていただきます。

八戸の概要、歩みにつきましては、皆さん十分ご存じだと思いますが、あえて昭和39年新産業都市の指定、平成14年東北新幹線八戸駅開業、平成23年東日本大震災の発生を赤い字で書いています。これはわたしなりに八戸のこれまでの発展の大きなポイントの3点だと思っています。この時に時に経済界と行政がしっかり連携を図って発展してきたと認

八戸RC名誉会員 熊谷 雄一 八戸市長

識しています。

その中で東北新幹線ですが、今年12月1日に開業20周年を迎えます。3日、4日とイベントが予定されています。この20年少し前、わたしは商工会議所青年部にいました。新幹線開業実行委員会を立ち上げ、これも経済界の商工会議所、市役所が中心になって実行委員会を立ち上げて、いろいろと受け入れ体制をとっていきました。この時のいろいろな研究、取り組みがその後の八戸の発展に大きくつながっていると思っています。

とりわけビジネスチャンスが広がったということもありますが、開業に向けた受け入れ体制を作る中で、今まで当たり前と思っていたお祭り、あるいは自然、食が八戸にとって重要な地域資源だったということを経済界、行政、一般市民の方も気が付いて、それをブラッシュアップさせながら、そして発信して、観光都市としても発展してきたのではないかと。明日20周年を迎えますが、地元紙にもいろいろ連載いただいておりますが、今一度この20年の歩みを検証しながら、新幹線効果をさらに獲得していくための、そういう節目にしていきたいと考えています。

八戸市総合計画概略ですが、第1章「今の社会情勢の変化、現状について」、第2章「2040年までの展望」、第3章「将来都市像「ひと・産業・文化が輝く北の創造都市」と掲げています。ありきたりの感じは致しますが、しかし八戸の場合、やはり市民力がひじょうに高いなと思っていますし、産業都市です。今は文化・スポーツに力を入れていま

すので、そういった点では「ひと・産業・文化」はいい3つの言葉ではないかと思っています。以前、中里信男元市長は「たくましい産業・文化都市」というスローガンを抱えていましたが、そこに通じていくような都市像ではないかと思います。第4章「まちづくりの視点、まちづくり推進体制、まちづくりの戦略」第5章「地域が一体となって推進する6つの政策」として具体的なものを掲げています。

総合計画 3つの行動指針

- まちづくりの視点：

3点のうち特にSDGsという視点を総合計画に中に入れてあります。すべての政策がSDGsのどのゴールとつながっているかということを明記していますし、創造的復興の実現を目指す視点も入れてあります。

- まちづくり推進体制：

多様な主体が参加したまちづくりの推進、行財政の推進、自治体間連携の推進。

- まちづくりの戦略：

単年度ごとの戦略で、未来共創推進戦略2020は今年の4月からスタートしています。推進戦略は令和4年度の段階の重要課題を9つ挙げ、その一つ一つに対応する戦略という組み立てになっています。

戦略1 新型コロナウイルス感染症流行の克服

- 新型コロナウイルスの感染症危機管理マニュアルを策定

どれくらい感染症が拡大すれば保健所機能を強化していくかを明記しましたが、それをはるかに超える第6波、第7波になり、市民の皆様にはいろいろとご迷惑をおかけしました。医師会の皆様にもいろいろとご協力をいただきながら今日まで来ています。8月29日にコールセンターを設置して、今の段階では保健所がつながりにくいことは解消されていると思っています。2、3週間前に医師会と保健所でこれまでの検証をしながら次の対策を進めているところです。医師会の皆さま方のご協力が必要ですので、宜しくお願いします。

- 経済対策

コロナ禍にあっても経済を回すということで、プレミアム食事券（プレミアム率30%）で発行済。コロナだけでなく物価高騰に対する支援も含め、プレミアム率50%の商品券も発行済です。全市民に行き渡るように準備しました。これ以外にいろいろな団体がイベントをやるときに9/10補助する支援事業を行っています。今各地でいろんなイベントをやっていますが、そういうことをやりながら経済を回していく。これも医療機関の方の前では申し上げにくいところもありますが、やはりこういう状態でもなるべく経済を回していきたいと考えています。

戦略2 産業都市八戸の更なる経済活性化の推進

- 経済再生ビジョン策定事業

アフターコロナの後の八戸の経済再生のためのビジョン。その後に物価高騰があります八戸市中小企業・小規模企業振興ビジョンということで、すでに皆さんの企業にアンケートを送り、回収し、それに基づいてビジョンを策定しています。さらに商工会議所からも中小企業・小規模事業者振興条例を策定して欲しいとの要望をいただき、策定しました。こういう条例は意外と策定して終わりということが多いのですが、そうではなく、その条例に基づいて実際に中小企業振興策がどう展開されているかをチェックするための会議も設定しています。その条例とこのビジョンを基に新年度以降、中小企業対策を進めていきたいと考えています。

- 新産業団地整備・開発推進事業

北インター工業第2工業団地。今月頭に知事と一緒に産業立地フェア、企業誘致フェアに行ってきました。ひじょうに第2工業団地に対する関心が高いので、今後の八戸の産業振興策の目玉にしていきたいと考えています。

- はちのへ創業・事業承継サポートセンター事業

今、商工会館の1階で創業事業のための「はちサポ」を設定しています。この間も高校生がぜひ創業したいということでした。支

援策を拡充しながら、若い方が八戸で活躍できる、そのための強化策につなげていきたいと考えています。

・三陸沿岸道路利活用促進事業

昨年12月に全線開通しましたが、いまだに2車線化の部分がったり、休憩施設が足りないハーフインターチェンジということもあり、その辺のところを国に強く要望しようと岩手県、宮城県の沿線首長と一緒にいろいろと行動しています。

・ポートセールス事業

振興協会と一緒に、7月末に名古屋、東京でやってきました。本来は今年韓国でやろうということでしたが、コロナの関係でできませんでした。だんだん落ち着いてきたら、海外でのポートセールスもやっていきたいと思います。

・水産業振興事業

今まったく魚が獲れない。そういう状況の中で資源の回復を待っているだけではだめだろう。資源が今のような状態でも八戸の水産業をどのように将来展望していくかということで、水産業界の方はもとより、金融機関、研究機関・大学、あるいはIT関係、そして市民に広く呼びかけをして、今この水産アカデミーを行っています。そういう中で、これはだいぶ遅れましたし、ちょっと時間とお金もかかりますが、つくり育てる漁業を一つの柱にしたいということで、今研究しています。

戦略3 持続可能なより良い社会の実現

・SDGs情報発信・普及啓発事業

SDGsをすべての政策に張り付けているほか、市民向けの講演会、職員向け、広報はちのへでも2回に1回はSDGsの特集を行っています。青年会議所との協定、ATVとも提携して発信していただいています。まだまだ青森県はSDGsに対する認識が低いところがあり、少しでも啓発していきたいと考えています。

・カーボンニュートラル

市役所の中にグリーン社会推進プロジェクトチームを作って、市役所の中の脱炭素化を

進めるということで検討しています。インテリジェントプラザの中に臨海工業地帯の企業を中心として、八戸地域ゼロエミッション連絡協議会を作って、ここでも研究していただいています。そこに市も参画しますが、いろいろLNG、水素に可能性を見出していきたいという議論がされているようです。

・行政のデジタル化体制強化事業

庁内にデジタル推進室を設置して、すべての課にデジタル推進員もいます。庁内のデジタル化を進めると共に、デジタル関係の方にも入っていただいて、今、八戸デジタル推進懇談会という会議をやっています。その中で年度内に八戸デジタル推進計画を作って、八戸全体のデジタル化も進めていきます。

戦略4 個性豊かな魅力あるまちづくりの推進

・美術館運営事業

昨年11月に美術館がオープンしました。市民の方々からいろんな意見をいただいております。ただけっこう専門家、この分野に詳しい方から言わせると、ひじょうにいい美術館という評価をいただいています。2022年度グッドデザイン賞も受賞しました。きょうの午前中に旭ヶ丘小学校6年生が美術館に来て、自分たちの作品を張り付けながらお互いの作品を評価し合う、そういう授業をやっていました。教育の場等でも活用しながら、市民の意見を聞きながら有効活用につなげていきたいと考えています。

・湊地区まちづくり事業

明日、新しい魚菜市場がオープンします。それと同時に陸奥湊駅にまちなか酒場というのも出来上がり、そういうものを組合せながら湊地区の新しいまちづくりにつなげていきたいと考えています。

・VISITはちのへ活動支援事業

このVISITができたことで、職員がかなりVISITに行っていますが、単に職員を派遣するだけではなく、やはり八戸の観光行政とVISITとしっかり連携を図りながら、新幹線開業20周年を迎える中で、観光政策も力を入れていきたいと思っています。特に新規事業

として「食のまち八戸プロモーション事業」を今年から立ち上げています。”食”をもう少し強く打ち出していきたいと考えています。

戦略5 安全安心で人にやさしいまちづくりの推進

・津波避難計画等改訂事業

26mの津波が来ると想定が出されています。今月新しい津波避難計画を策定しました。その計画に基づいて、これから避難道路や津波避難施設、タワーなどの建設を国の補助を頂きながら進めていくことにしています。

・中心街ストリートデザイン事業

チーノの再開発で、皆さんにいろいろとご心配をおかけしていますが、しかし、あれはあのままにはできないということで、14億を投資して再開発をやるということにしました。それに加えて中心街がかなり道路が傷んでおりますので、これは県の事業で進めていきます。その際にもう少し市民が歩きやすい、そして来街しやすい町にしようと中心街ストリートデザイン事業をやっています。これらと再開発事業を組み合わせながら中心市街地の再編につなげていきます。

戦略6 子どもたちの明るい未来創出と地元定着・人材還流の促進

・子育て支援アプリ事業

〇〇市が給食費を無償化した、あるいは医療費を無料化したなど言われていますが、これは財源の問題がある中で、今何とか八戸独自の子ども支援策を出せないかということで関係課が集まって検討しています。その中の1つとして、子ども支援アプリ事業を立ち上げました。これからやはり八戸独自のアプリもいろいろ立ち上げたいと思っています。来年は健康アプリを立ち上げますが、まずは子育てということで、今1,300人ばかりにご利用いただいています。

・こどもの国大型複合遊具設置事業

今遊ぶ場をもっと欲しいというご意見をたくさんいただいています。こどもの国に大型複合施設遊具を設置する準備をしています。

戦略7 多様な人材が活躍できる共生社会の実現

・八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議運営事業

八戸市まちの魅力創生会議ネットワークを立ち上げました。これは人口減少対策として、人口減少は赤ちゃんが少ない自然減と現出、社会減の2つの要因があります。どちらの対策も考えるために女性と若い方々に集まって議論していただきました。短期間で4～5回議論していただき、その中で若者と女性に意見を出してもらいましたが、その中でもやはり子育て支援が充実しているまちにして欲しいという意見が最も多く出されました。では具体的に少子化子育て支援策をどうするか、ということで、出された提言を基に今事業化の検討をしています。

これもとにかくこういうものは、意見を出して終わりということが多いのですが、そうではなく、出された意見を実際に事業化することによって若者、女性にもまちづくりに参画してもらう意図もあって、今事業を行っています。

戦略8 市民力の連携の相乗効果を活かした地域の活力創出

・「地域の底力」実践プロジェクト促進事業

前市長の時からやっていますが、それぞれ皆さんお住いの地域がありますが、その地域ごとにいろんな特色や強みがあります。分かりやすい事例として、是川であれば是川遺跡がある。上長であればFLATはちのへ前の広場がある。そういう地域資源を活用しながら、どういう町にしていこうかをいろいろ議論していただきながら、実際にプロジェクトを立ち上げていろいろなことをやっていただいています。これは実際にやっているところからは、ひじょうに評判がよく、この事業は今後も続けながら、それぞれの地域づくりにつなげていきたいと考えています。

・連携中枢都市圏推進事業

以前は合併がありましたが、今は合併ではなく連携ということです。八戸市、三戸郡さらにおいらせ町も含めて8市町村で連携中枢都

市圏事業を行っています。さきほどVISITの話もしましたが、VISITも圏域を意識していて、八戸の経済力を考えたときに圏域の方にも力を付けていただかないといけませんし、また八戸の発展が圏域全体の発展につながるということで、今この事業をいろいろ行っています。

肝心なのはそれぞれが自分たちの町ですし、首長もいますので、その中で八戸だけと思われると、やはりこういう事業はうまくいきません。この首長同志の信頼関係も構築しながらこの事業を進めて、圏域全体の発展につなげていきたいと考えています。

岩手県北の久慈・二戸との連携事業を行っています。また、はちまネットワーク、苫小牧との事業もやっています。苫小牧は人口は八戸より少ないのですが、製造出荷額が八戸の倍くらいです。苫小牧の奥には札幌の230万人の都市圏があり、苫小牧との連携も八戸にとってはひじょうに大きなことではないか。フェリーで結ばれていますし、フェリーで降りた八戸港から沿岸道路もあり、この物流の利便性を活用しながら、八戸もいろいろ考えて行きたいと思います。

戦略9 市民目線のまちづくりの推進と自治体ガバナンスの強化

・市長との公民館サロン開催事業

先ほど地域の底力事業の話をしました、この間の選挙中に回っていると、中心街もいいんだけどオラホも見てくれということが結構多い。おらほの道路を直してくれ、おらほの公園をよくして欲しいというのが結構ありました。やはりそれぞれの地域に目配りを

していなかったわけではありませんが、そのためにこの事業を立ち上げました。

それぞれの地域から課題を出していただいて、その課題の現場に地域の方と行きます。現場を見た上で、公民館でサロン形式、車座になって、だいたい10人くらいの方と意見交換をします。行政も来ていますが、行政には発言はさせないで聴いているだけ。終わった後に市役所にいろんな意見を持ち帰って協議してもらって、地域の方にお返しする。できることはすぐやりますし、できないことはこういう対策があることをお知らせします。

・公共施設マネジメント推進事業

いろんな公共施設ができました。これは市民の方からいろんな意見をいただいています。わたしはすべての施設を見ましたがそれぞれがひじょうに魅力的で価値のある施設だと思っています。そこでこれらを有効活用につなげていくために、市民の方々にもやはり関心や意見を出していただくために、今年度中に大型公共施設それぞれがどれくらい維持管理コストがかかっているのか、どのように利用されているのか、税金がどれくらい投入されているのかを見える化します。これは市役所の中の内部資料ということではなく、市民の方々に分かりやすい形で見ていただきます。いろんな意見が出るとは思いますが、やはり行政側には経営感覚、コスト感覚とをもって欲しいと思いますし、市民の皆さん方にもより関心をもっていただいて、これならこういう使い方をしないといけないなどの意見をいただきながら、公共施設の有効活用につなげていきたいと考えています。

出 席 報 告						出席委員会					
第 3 2 5 1 回例会（ 1 1 月 3 0 日）				第 3 2 5 0 回例会（ 1 1 月 1 6 日）							
出 席 率		7 1 . 7 %		出 席 率		5 5 . 0 %		修 正 出席率	6 1 . 7 %		
総 会 員 数		6 1 名		出席数	4 3 名		総 会 員 数		6 1 名	メークアップ した人数	4 名
出席義務会員 6 0 名	出席免除会員 1 名	欠席数 1 7 名		出席義務会員 6 0 名	出席免除会員 1 名	欠 席 数		2 3 名			